

岡山

岡山支局

〒700-0904 岡山市北区柳町1の1の17
 TEL 086(231)2111
 FAX 086(231)2129
 okayama@mainichi.co.jp

倉敷支局 086(424)2221
 【広告問い合わせ】
 ビザビコムニ
 毎日新聞チーム
 【購読問い合わせ】

夢 童

菅波 茂

2014年1月20日より5日間。神奈川県茅ヶ崎中央ロータリークラブ、アメンバートパキスタンにてポリオ撲滅運動の情報収集。「談論風発」にして有言実行」のロータリークラブである。訪問したのは、首都のイスラマバードでは日本大使館、首相付ポリオ撲滅担当官、NRSP本部(詳細は後述)。カラチでは総領事館、NRSPのタッタ地区におけるポリオ担当、カラチロータリークラブ等である。

ポリオ発生率は減少しているが北西部辺境州など特定地域で80%と特徴がある。都市住民30%で残りの70%が貧しい農民。彼らは識字率は低くテレビやラジオを持っていない。部族社会なので女性と子どもには女性しか接触できない。彼らに対するポリオキャンペーンをどうするのか。NRSPが考え出したのが「女性健康普及員」のシステムである。教育を受けた女性健康普及員が各家庭を訪問してポリオワクチン接種の必要性を母親に教える。問題は彼女たちに対する必要な教育の提供と給料である。報酬は月に1万円と安いので辞めやすく、十分な教育を受けた女性普及員の確保は困難である。更に、ポリオ対策が米国のスパイ活動に利用されたと、ポリオ接種関係者が殺される事件が続いていることも困難を助長する。

「家庭健康教育プログラム

ポリオ撲滅運動 in パキスタン～「世界家庭健康教育基金」



(後列右から) 茅ヶ崎中央ロータリークラブの小川氏、筆者、同クラブ木村氏、首相付ポリオ対策技官。(前列右から) AMDA本部の岩本看護師、A.R.Farooq首相付ポリオ撲滅担当官、同クラブ前川氏—イスラマバードの首相官邸で

ラム3ヶ年計画」を提案した。岡山県が誇る母子の健康を守ってきた「愛育委員会」の考えである。女性が、単に健康情報を与えられる立場から、健康情報を普及させる立場への昇華である。健康情報を持っている女性は、その情報を子ども、夫、両親を通じて近所の人たちに伝達する。具体的には、若い女性1年間で1440名。予算は

に1日3時間で5日間の研修。内容は応急処置、避妊、出産前後のケア、衛生そして予防接種(ポリオを含む)。参加者は500円と終了後の試験に合格すれば更に500円を提供。講師は認定試験に合格した女性健康普及員。報酬は15時間で1万円。1回の対象人数は10名。1カ月で40名。1年間で480名、3カ

に1日3時間で5日間の研修。内容は応急処置、避妊、出産前後のケア、衛生そして予防接種(ポリオを含む)。参加者は500円と終了後の試験に合格すれば更に500円を提供。講師は認定試験に合格した女性健康普及員。報酬は15時間で1万円。1回の対象人数は10名。1カ月で40名。1年間で480名、3カ

ルファンドが出資して立したという。2015年秋には国会議を東京の渋谷区青にある国連大学で開催したい。「家庭健康教育プログラム」を国連に提案するためである。催は国連経済社会理事総合協議資格のあるMDA、NRSPそして国際ロータリークラブ三者。後援は日本政府パキスタン政府。国際関としては女性の社会地位向上を目指す国連口基金や国連開発計画ポリオ対策を主導するHOとともに。会議の果として「世界家庭健康教育基金」を創設したい。パキスタンと日本の知を、AMDAとNRSPの現場力に加えて国際ロータリークラブのネットワーク力が、世界に普及させる。最高の夢であり夢である。(AMDAグループ代表